

すずらん通信

Vol.25
平成30年
12月1日
発行

★神奈川県青少年センター共催

金平先生講演会「家族のためのひきこもりケア」

(11月23日)

この日は晴天でもう11月も後半というのに暖かく紅葉日和でしたが、そんな中15名の親御さんや関係者の方々に来て頂き、実りある講演会となりました。親の気持ち子の気持ちと題して、その中で発達段階と教育と言う項目で、乳児期・幼児期・児童期・青年期・成人期・老年期と段階ごとに教育がどのように関わってくるのかという話を先生自身の体験談を交え、話して頂きました。

終わりに、来場者の方からアンケートを取らせて頂き、「自分自身を見つめ直す事が出来ました」と言う感想頂き、非常に有意義なものとなりました。

金平先生、ありがとうございました。



★お楽しみ会 in 富士急ハイランド (11月1日)

この日は、来年卒園する子どもメインの卒園遠足で、富士急ハイランドに行きました。鈴蘭学園では、初の試みでマイクロバスと運転手さんをチャーターして行きました。富士急ハイランドに近づいた所で、富士山がとても綺麗に見え、今日1日がワクワクしてきました。富士急ハイランドに着くと、皆乗りたいアトラクションへとgo! 私はと言うと、恒例の「中村を探せ!」で、皆から逃げ回ると言う形でした。運良く午前中は、見つかりませんでした。

子どもたちはと言うと、超ハードなアトラクションは長蛇の列で乗れず、ちょっとハードなアトラク

ションに乗ったとのこと。そして、気分が悪くなる子もいれば、あっけらかんとしている子もいました。ハードなアトラクションに乗れない子は、トーマスランドでまったりと過ごしていました。お昼は、皆と一緒に食べました。(やはり観光地の食べ物は、高いですね)



午後からも、超ハードなアトラクションに乗りに行く子、トーマスランドに行く子と別れ、私中村は、またもや見つからない所へと行きましたが、鬼太郎グッズの売り場についつい長居したことで、見つかってしまい、ハンバーガーを先着3名までおごりました。あっという間に時間は経ち、帰りのバスの中では、あんなに元気だった子どもたちは疲れてぐっすり眠っていました。鈴蘭学園に着き、解散となった時には綺麗な夕日が私たちを照らしていました。マイクロバスの運転手さん、引率のスタッフとボランティア、そしていっぱい楽しんだ子どもたち、お疲れ様でした。楽しい思い出をありがとう!

★今年一年間を振り返り、皆さんのご協力なしには、この鈴蘭学園は成り立ちません。本当にありがとうございました。又、来年も引き続き、ご協力の程宜しくお願いします。皆さんにとって、来年も良い年でありますように。少し早いですが、お礼の言葉と控えさせていただきます。

NPO法人フリースクール

鈴蘭学園理事長 中村鳴美

※Twitter や Facebook でも情報発信を行っていますので、そちらもご覧下さい。宜しくお願いします。

中村のちょっと成長した話

今年はコツコツと行ってきた活動が少しずつ外部へ発信されるようになってきたように思います。タウンニュースにおいてもコメントが掲載される機会が多い1年でした。来年も今年同様、宜しく願います。

※タウンニュース（さがみはら中央区版）2018年11月8日号に不登校者数増に関するコメントが掲載されました。

相模原市 不登校者数、小中ともに増

「無気力」原因が最多

文部科学省は10月25日、2017年度の小学校と中学校における不登校者数の調査結果を発表した。全国で過去最多の人数となり、相模原市は小学校が2016年度から38人増の252人、中学校では同109人増の830人で、小学校の数値は2014年度と並び過去最多となった。

市の青少年相談センターが市内の小中学生を対象に行ったアンケート結果では、「無気力」を理由に不登校になる子どもが多く、小学生は家庭内の問題、中学生は学力不振での悩みが要因となる場合が多いとされた。市は現在、市内の各学校が独自に行う不登校児童への対応策を聞き取り調査しており、収集した対応策をまとめ、各学校に共有していく方針だ。

「まずは休み、相談を」

不登校の子どもたちの受け皿の一つとされるのがフリースクール。矢部のフリースクール鈴蘭学園（中村鳴美理事長）でも、今年に入り電話相談の件数が増加。中村理事長は「学校に行けなくなったらまずは休むことが大切」と話す。その上で、次の行動までの期限を決めることも重要だとし、「しばらく休んだら、青少年相談センターやフリースクールなどに相談し、親子で子どもの居場所を探してみてください」とアドバイスを送る。

◆12月の予定◆

日	月	火	水	木	金	土
25	26	27	28	29	30 開園日	1 電話相談 面談受付
2	3	4 開園日	5 開園日	6 開園日	7 開園日	8 面談受付
9	10	11 開園日	12 開園日	13 開園日	14 開園日	15 電話相談 面談受付
16 電話相談 鈴蘭説明会	17	18 開園日	19 開園日	20 開園日	21 開園日	22 面談受付
23	24	25 クリスマス会	26 開園日	27 冬季休業	28 冬季休業	29 冬季休業
30 冬季休業	31	1	2	3	4	5

お悩みの方、ご相談ください。

自信・活力・自分らしさを取り戻すため、あなたと共に問題に向き合います。
まずは、ご相談ください。

相談専用ダイヤル TEL：042-733-0015

電話相談事業は、神奈川県フリースペース等補助金により運営しています。